

本資料は、5月7日に開催された泉州市・町関西国際空港推進協議会総会（関空協）の場で、泉州地域が観光振興をはじめ地域の活性化に取り組んでいくにあたり、関空協、大阪府、関西エアポート社との「三者による検討の場」の設置方針が示されたことを受け、その後、三者事務方で調整した案です。

◆趣旨

関西空港の容量拡張は、一部地域への環境負荷が懸念される一方、空港のみならず、地域の発展にとって重要な機会となる。今後、増加が期待される訪日外国人を如何に泉州地域に取り込んでいくかなど、泉州地域において「空港と共生する泉州地域の活性化」に向けた共通課題への対応を検討するにあたり、空港会社、大阪府などの協力・支援を得て、以下の検討会議を共同で設置する。

◆概要案

項 目	内 容
名 称	空港と共生する泉州地域の活性化に関する検討会議（仮称）
構成団体	関空協、関西エアポート社、大阪府 ほか <i>※(一社)KIX泉州ツーリズムビューロー、新関西国際空港(株)などの参画についても調整中</i> <i>※ 検討メンバーは実務責任者クラスを想定</i>
当面想定される 検討テーマ	○訪日外国人の地域への取り込み ○K I X泉州ツーリズムビューローの活性化支援 など <i>※今後、検討テーマは、関空協幹事会等での検討を踏まえて調整</i>
検討方法	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 関係者ヒヤリング ➤ 訪日外国人データの分析など他事例調査 ➤ 有識者の意見聴取 <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; margin-left: 20px;"> } これらを踏まえ議論 </div>
スケジュール	今夏、検討会議を設置し、年度末に中間報告を行えるよう検討する。